この学校通信はホームページにもアップしています

令和3年3月19日　通巻№50 記念号

福中南

岡山市立福南中学校通信　発行：校長　小野　大

心に残る素晴らしい卒業式

３月１２日に、第４４回卒業証書授与式を挙行いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者を縮小し、卒業生とＰＴＡ会長様、保護者の皆様、教職員のみの卒業式でした。今年度は、様々な活動について、生徒たちは、大変多くのことを我慢した１年でした。学校での教育活動が、縮小や変更された内容にも、できることに喜びを感じながら成長しました。そんな一端を感じさせる卒業式でした。

さて、感染防止としては、参加者は全員マスク着用とし、入口での検温や体育館横幅いっぱいを使った席の配置をし、換気のために小窓を開けた状態での卒業式を行いました。特に、窓の近くの皆様、体調を崩されてないか心配ですが、ご列席いただいたＰＴＡ会長様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

卒業生を送る言葉

在校生を代表して草野凛桜さんが参加し、「卒業生を送る言葉」を、たくさんの想いと感謝の気持ちを込めて伝えてくれました。在校生全員の気持ちとして、その一部を紹介したいと思います。

（前略）

３年生の先輩方は、私達が入学したときからずっと常に優しくしてくださるとても頼もしい存在であり、目標でした。入学して間もない頃、私達に優しく温かく接してくださる姿、何事にも工夫して一生懸命取り組んでいる姿、いつも明るい笑顔で振る舞ってくださる姿、生徒の中心となって私達を引っ張ってくださる姿、先輩たちのたくさんの姿を見る度に憧れの気持ちも強くなっていきました。

私は様々な思い出の中でも文化祭が深く印象に残っています。今年度の文化祭は感染拡大防止のため、例年のようなクラスや学年の発表が見られないことをとても残念に思っていました。しかし、そんな中でも文化発表会を盛り上げようと工夫を凝らす先輩方の姿に、とても感動しました。また、先輩方の平和への誓いの色紙や繊細な美術作品などからは、とても一生懸命な気持ちが伝わってきました。それと同時に、どんな状況でも一つ一つのことに全力で取り組むことの大切さを教わりました。

（中略）

さて、今年の生徒会のスローガンは『架～Step to the future～』です。このスローガンには、コロナ禍でも輝く未来へ全員で橋を架け、進んで行きたいという気持ちが込められています。

（後略）

お別れの言葉

卒業生を代表して、渡部隼人君が、「お別れの言葉」を中学校生活の思い出と共にこれからの決意を伝えてくれました。在校生の皆さんに伝えたい言葉だと思うので、その一部を紹介します。

（前略）

我々は３年前の４月、日本中が２０２０東京オリンピックに向け活気づき、明るい未来を想像し、盛り上がっていた頃、この福南中学校に入学しました。部活動、学業、新しい友との出会い、思春期ならではのトラブルはありながらも新生活は順調にスタートしていました。しかし、突如出現した新型コロナウイルスにより、昨年５月２０日まで、約２ヶ月半の学校閉鎖そして部活動等の大会中止、コロナ禍の学校生活を経験し、それまで当然のようにあった学校生活は当たり前でないことに気づかされました。特に休校中、学校で過ごす時間や友達、部活動等は、我々にとって存在意義があまりにも大きいということを感じさせられました。また、緊急事態宣言下での不要不急の外出自粛、各自の自己判断に行動が任され、不要不急とは何か、どこまで自粛すべきなのかなど、様々な行動の是非に葛藤し、自己判断の難しさを痛感しました。

これまで味わったことのない不安とストレスを感じる日々が続き、幾度も夢であってほしいと思いました。

しかしながら、我々はとても幸せでした。コロナウイルスが終息しきらない中で再開した学校生活、希望が持てなかった我々に、先生方は工夫と努力で校外研修、体育祭、文化発表会を開催してくださいました。中学校生活最大のイベントである沖縄修学旅行中止に虚しさと寂しさを抱いていた時、先生方は安全・安心という難題と向かい合い、近隣校は代替案なしの中、福南中学校は校外研修を決行していただきました。先生方の熱意により、諦めかけていた思い出作りが叶えられました。先生方は遅れた授業対応に追われ、スケジュールも大変な中で、我々のために奔走してくださいました。その背中を見て『With コロナ』とは、消極的行動をするのではなく、その時できる最善の積極的行動をすることなのだと感じたことを今でもはっきり覚えています。頼もしく尊敬できる先生方に出会えたことは本当に幸せでした。

（中略）

在校生の皆さん、新一年生を温かく迎えてあげてください。これから悩み事も増えてくると思いますが、一人で悩むのではなく、必ず周りの人に相談してください。この学校には、親身になって相談にのってくれ、正面から向き合い受け止めてくれる先生方がたくさんいます。我々は、今日この福南中学校を在校生の皆さんに託します。さらに素敵な学校にしてください。

（後略）

送別の歌

今年度は、ステージ前にひな壇を設置し、女子はひな壇の上と壇の前のフロアーに立って、男子は生徒席の前方へ立って、保護者の皆様に向かって合唱しました。マスクをしたままでしたが、「**分岐点**」という曲を、それぞれのパートで仲間を信じ、素晴らしい歌声で響かせました。ここでもひとつになった力の大きさを披露してくれました。昨年度からの新しい伝統を、コロナ禍でもしっかり受け継いでくれた卒業生の皆さんありがとう。

旅立ち

昨年度から、卒業生は自分たちだけで式場を旅立つことに決めました。卒業生退場のアナウンスで、３年担当の先生方は体育館入り口に移動し、卒業生を見送りました。卒業生は、学級委員長の号令のもと一礼し、学級委員長が先頭に立って、それぞれの学級の保護者の間を堂々と退場していきました。

もう自分たちだけで、歩みを進めることができるね。いつも応援しています。

保護者代表あいさつ

坪下一美様から、とても心温まる保護者代表のあいさつを頂きました。教職員一同、心から感謝申し上げます。頂いた言葉を糧に、来年度へ向けて頑張りたいと思います。